

事 業 概 要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境をのこしていくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

1. 普及啓発活動

1. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト

近年石狩浜は、後を絶たないバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因によりハマナスなどの海浜植物が失われつつあります。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成25年度に「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトでは、当センターの隣接地7,000m²を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植や、散策路づくりを、「はまなすサポーター（研究機関、企業、市民等）」の方々と協働で取り組みました。また、市民有志が集まり（はまなすフェスティバル実行委員会）、各種イベント等を開催しました。

■はまなすフェスティバル

内容：石狩浜海浜植物保護センターを会場に、「香り」をテーマにしたミニセミナーや特別展示を行うとともに、食や美容、健康、景観や保全といった様々な視点からブースを設け、ハマナスをきっかけに、石狩浜のすぐれた自然の魅力・大切さを多くの人に伝えました。また、ハマナスを活かした市民活動の活性化につなげました。



開催日：平成28年6月18日（土）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：650人

■はまなす広場

内容：「石狩さけまつり」と同日開催し、ハマナスの活用（ジャムづくり、蒸留水づくり）やハマナスゼリーの試食、ハマナスティーの試飲など、はまなすフェスティバルのミニ版として開催し、とことん秋のハマナスを楽しみました。



開催日：平成28年9月25日（日）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：600人

■はまなすセミナー

内容：新たなファン層を開拓するため、乳幼児を持つ保護者を対象にベビーマッサージ講座を開催し、ハマナスの香りが持つリラックス効果を通して石狩浜の自然への関心を深めました。



開催日：平成28年10月15日（土）

場 所：石狩市民図書館

講 師：セントモニカ 七戸千絵氏

参加者数：14組

■再生園の様子

石狩浜海浜植物保護センター隣接地、約7,000m²をハマナス再生園として再生、活用するために、はまなすサポーターによる再生園整備作業を行いました。また、活動日を「ハマナスヘルシータイム」と改め、作業後はお茶会を設け、サポーター同士の交流を図りました。作業日は6/9、7/14、9/8、10/13の全4回。

●ハマナス再生園 H28. 6月撮影



●ハマナスサポーター登録数（4/1～11/3） 26人

●ハマナスの苗・種の配布数（4/1～11/3） 苗151本、種73袋

●ハマナスの苗づくり・移植数（4/1～11/3）

苗づくり 980ポット、移植数 734ポット

●ハマナスヘルシータイム

①第1回 (6/9) 再生園作業 (除草)



参加人数 18名

②第2回 (7/14) 再生園作業 (除草)



参加人数 14名

③第3回 (9/8) 再生園作業 (除草)



参加人数 19名

お茶会

(セントモニカによるハマナスハーブティー提供)



お茶会

(土倉によるハマナス緑茶と美味しいお茶の入れ方)



お茶会

(ラ・ターブルベールによるハマナスハニー提供)



④第4回（10/13）再生園作業（移植）



参加人数 14名

お茶会

(クルッティによるハマナスハーブティー提供)



(後藤商店によるホコノンノの紹介)



■第3回 石狩海辺の風景写真コンテスト

募集期間：7月1日～8月31日、応募数：64点

全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「石狩海辺の風景写真コンテスト」を開催しました。

応募作品すべて、市内外の各所で展示会を行いました。

平成28年 11月 22日～30日：花川南コミュニティセンター

12月 6日～13日：花川北コミュニティセンター

12月 14日～22日：石狩市役所 1階口ビー

平成29年 1月 12日～20日：石狩市民図書館

1月 26日～2月 7日：札幌エルプラザ情報センター

【受賞作品】



グランプリ 「足跡」



準グランプリ 「星空の石狩灯台」



準グランプリ 「石狩の茜空」



石狩市長特別賞 「餌を探してテイクオフ」



はまなす賞 「花の中の小さな働き者」

2. いしかり海辺ファンクラブ協働事業

石狩市協働事業提案制度に基づき平成23年度に採択された、市民団体いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」（提案制度は平成23～26年度）について、引き続き、表1-1のとおり取り組みました。

表1-1 石狩海岸の保全と啓発に関する事業実施状況

■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」配布

石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）パンフレットを、7月30日（土）、8月7日（日）の2日間、レジャー利用者等に配布しました。

■海辺パトロールウォーク

海浜植物保護地区外の海浜植生域のバギー車等の乗り入れ状況を調査するために、5月6日（金）、6月3日（金）、7月1日（金）、8月5日（金）、9月2日（金）、10月7日（金）、11月4日（金）の計7回、パトロールを実施しました。



パンフレット



8/7 パンフレット配布



9/2 パトロール活動

3. 自然教室等

平成28年度は、表1-2のとおり実施しました。実施にあたっては、社会教育施設や市民団体との共催により、普及啓発事業の効率化を図りました。

表1-2 平成28年度自然観察会等の開催状況

■石狩浜海浜植物保護センター ミニ講座①「石狩海岸はなぜ全国的に貴重なのか」
5月18日（水） 参加者5名
講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員 安田秀司
■石狩浜海浜植物保護センター ミニ講座②「知ってる？石狩浜の自然の秘密」
6月23日（木） 参加者7名
講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員 石山優子
■石狩浜海浜植物保護センター ミニ講座③「石狩浜の環境保護・保全の流れ」
7月8日（金） 参加者6名
講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員 石井滋朗
■セイヨウオオマルハナバチ駆除体験会 in 石狩
（北海道セイヨウオオマルハナバチ駆除対策推進協議会主催）
7月9日（土） 参加者13名
会場：石狩浜海浜植物保護センターほか
環境科学研究センター西川氏の講義の後、無辜の民像周辺で駆除体験を実施しました。
■石狩浜自然案内人養成講座（夏季）
7月2日（土）・3日（日） 参加者4名
会場：石狩浜海浜植物保護センターほか
施設や観察園の案内および自然体験プログラムなど、保護センターの活動をサポートする人材を育成しました。
■フットパスツアー「石狩本町から河口まで～はまなすの丘公園をめぐる～」
（いしかり海辺ファンクラブ主催）
7月16日（土） 参加者10名
本町から歩いてはまなすの丘公園を巡り、ハマナスなど海浜植物を観察しました。帰りは弁天歴史通りを歩いて石狩の歴史を学びました。
■親子体験講座「テンキづくり～ハマニンニクで小カゴを編む」（いしかり砂丘の風資料館主催）
7月23日（土） 参加者12名
会場：いしかり砂丘の風資料館
海辺の環境を学び、アイヌの人々が使用していたハマニンニクを使ったカゴを編みました。

■夏休みミニ自然教室

7月30・31日（土・日）、8月6・7日（土・日） 参加者81名

会場：石狩浜海浜植物保護センター

指導：石狩浜自然案内人

クラフト遊び、自然観察園でのクイズラリーを行いました。

■カルチャーナイト2016「夕暮れの石狩浜で遊ぼう」（いしかり海辺ファンクラブ主催）

8月6日（土） 参加者26名

会場：石狩浜海浜植物保護センター ほか

地図を片手に自然と歴史の宝探しなどを行い、石狩浜のタベを楽しみました。

■石狩浜海浜植物保護センター ミニ講座④「石狩海岸はなぜ全国的に貴重なのか」

8月11日（月） 参加者4名

講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員 安田秀司

■石狩浜自然案内人養成講座（秋季）

8月27日（土）・28日（日） 参加者6名

会場：石狩浜海浜植物保護センターほか

施設や観察園の案内および自然体験プログラムなど、保護センターの活動をサポートする人材を育成しました。

■石狩浜海浜植物保護センター ミニ講座⑤「知ってる？石狩浜の自然の秘密」

9月24日（土） 参加者6名

講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員 石山優子

■ウミベオロジー/石狩海辺学2016「イシカラベツとオタルナイ」

（いしかり館ネットワーク主催）

10月1日（土） 参加者67名

会場：紀伊國屋書店札幌本店1Fインナーガーデン

講師：北海道立総合研究機構地質研究所 仁科健二 氏

小樽市総合博物館 石川直章 氏

■石狩浜海浜植物保護センター ミニ講座⑥「外来植物について考える」

10月6日（木） 参加者6名

講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員 石井滋朗

■第4回石狩海岸フォーラム「いしかり海辺の自然報告会」（いしかり海辺ファンクラブ主催）

11月20日（日） 参加者62名

会場：花川北コミュニティセンター

報告者：寒河江洋一郎（花砂丘仕事人）、高瀬たみ（いしかりガイドボランティア）、

成田一彦（いしかり海辺ファンクラブ）、奥山賢汰（北海道大学農学部）、
安田秀子（石狩浜定期観察の会）、志賀健司（いしかり砂丘の風資料館）



7/2 石狩浜自然案内人養成講座



11/20 いしかり海辺の自然報告会

4. 教育機関等への学習指導

センターでは、小中学校等教育機関が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する環境プログラムを提供しています。平成28年度にセンターを利用した学校等は表1-3のとおりでした。

なお、小中学校が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する学習プログラムを示した「石狩浜学習プログラム集」をHP上で配信しています。

表1-3 平成28年度学校等利用状況

利用日	学校等名称（学年）	人数（人）
5月2日（月）	石狩小学校（5年）	14
5月3日（火）	北海道教育大（2～4年）	13
5月7日（土）	にこりんこども園	39
5月14日（土）	にこりんこども園	42
5月23日（月）	北海道大学環境科学院	22
5月25日（水）	藤女子大学食品微生物学研究室	2
7月7日（火）	藤女子大学人間生活学科	20
7月11日（月）	大麻幼稚園	75
7月20日（水）	北陽幼稚園	32
	団体数	9
	人数合計	259

5. 出張講座・講師派遣事業

出張・出前講座及び講師派遣事業は表1-4のとおりです。

表1-4 平成28年度出張講座・講師派遣事業実施状況

■出前講座（石狩中学校1～3年生）

5月17日（火）

会場：石狩中学校

内容：石狩浜環境学習「石狩浜環境の今を知る」

人数：81名

■出前講座（石狩翔陽高校2年生）

講話：5月17日（火）、現地学習5月31日（火）

会場：石狩翔陽高校、石狩浜海浜植物保護センター

内容：講話・野外観察「石狩浜の自然と保全」

人数：40名

■事業協力：北の里浜 花のかけはしプロジェクト（石狩中学校2年生）

種まき作業：5月24日（火）、移植作業：7月19日（火）

会場：石狩中学校

内容：仙台海岸の海浜植物の種まき、育苗、移植など。被災海岸の現状等を学ぶ。

人数：26名

■出前講座（南線小学校3年生）

1組・4組：7月7日（木） 2組・3組：7月14日（木）

会場：はまなすの丘公園ほか

内容：フィールドビンゴ、海浜植物の特徴、本町地区の歴史など

人数：149名

協力：いしかり海辺ファンクラブ

■出前講座（石狩小学校5年生）

7月8日（金）、8月29日（月）

会場：はまなすの丘公園、三線浜ほか

内容：はまなすの丘公園の海浜植物、バギー車跡の見学、三線浜でのゴミ調査など

人数：12名

協力：いしかり海辺ファンクラブ

■出前講座（花川南小学校4年生）

7月12日（火）

会場：はまなすの丘公園ほか

内容：はまなすの丘公園の海浜植物、フィールドビンゴなど

人数：93名（自然班50名、歴史班38名、引率教員5名）

協力：いしかり海辺ファンクラブ、いしかりガイドボランティア

■出前講座（花川南小学校5年生）

7月25日（月）

会場：はまなすの丘公園ほか

内容：はまなすの丘公園の海浜植物、フィールドビンゴなど

人数：81名（引率教員2名含む）

協力：いしかり海辺ファンクラブ

事業協力：北の里浜 花のかけはしプロジェクト（石狩中学校3年生）

8月26日（土）・27日（日）

会場：宮城県名取市（名取市閑上浜ほか）

内容：海浜植物の植栽、被災地での交流など

人数：5名（引率教員1名含む）

■出前講座：石狩浜学習（石狩中学校1年生）

9月9日（金）

会場：海浜植物保護センター、石狩中学校、石狩浜（クレーター周辺）

内容：ハマナスの実ジャムづくり、バギー車跡見学、砂丘の植生調査など

人数：24名

協力：いしかり海辺ファンクラブ

■ブース出展：科学の祭典 in 石狩 2016（主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会）

9月10日（土）

会場：石狩市こども未来館

内容：「石狩浜の砂の中から見つかる生き物のしるし」

人数：125名（イベント全体参加人数：1,000人）

協力：石狩浜自然案内人

■出前講座（南線小学校3年1組学級レク）

9月20日（火）

会場：南線小学校

内容：ハマナスの実ジャムづくり、ハマナスクイズなど

人数：76名（児童38名、保護者38名）

協力：いしかり海辺ファンクラブ

■事業協力：総合的な学習（石狩中学校2年）

11月7日（金）

会場：石狩中学校

内容：エコツーリズムで持続可能な地域を創る

人数： 26名

■ブース出展：第5回 CISE サイエンス・フェスティバル in チ・カ・ホ

(主催：CISE ネットワーク)

1月21日（土）・22日（日）

会場：札幌駅前通地下歩行空間「北3条交差点広場（西）」

内容：～つながる！ひと・いきもの・博物館～

全体来場者数：9,441名

協力：石狩浜自然案内人

6. 施設利用

各種団体の利用状況は表 1-5 のとおりです。

表 1-5 平成 28 年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況

利用日	団体名	人数（人）
4月30日（土）	酪農学園大学野生動物研究会	6
6月4日（土）	全国ネイチャーゲーム	30
6月11日（土）	Ezorock ライジングサンチーム	15
6月12日（日）	日本野鳥の会小樽支部	14
6月13日（月）	札幌市資料館	29
6月14日（火）	輪島市	20
6月26日（日）	室蘭野の花の会	13
6月26日（日）	羊が丘養護学園	38
7月11日（月）	環境保全学会	30
7月11日（月）	石狩小学校サイクリングクラブ	9
7月21日（木）	上幌向女性防火クラブ	12
7月25日（月）	しおん学園	12
8月8日（月）	コスモスポーツクラブ	34
8月10日（水）	医療法人共栄会	8
8月15日（月）	放課後デ サービスらふと	9
8月25日（木）	白老町役場	2

8月25日（木）	アイヌ文化財団	2
8月25日（木）	白老モシリ	2
9月11日（日）	インターナショナルごみ拾い	30
9月12日（月）	花川すみれ会歩く会	18
9月17日（土）	石狩市環境教育推進協議会	7
10月21日（金）	足寄神社修代会	5
	団体数	22
	人数合計	345

7. 執筆・寄稿

出版物への投稿は表1-6のとおりです。

表1-6 平成28年度出版物への寄稿・執筆状況

■雑誌「モーリー第43号」誌面『ネイチャーセンター日記』

発行：財団法人北海道新聞野生生物基金

テーマ：今年度も活動が始まりました

8. 刊行物・HP

平成28年度に配布した刊行物等の発行状況は表1-7のとおりでした。

センターのホームページで配信し、行事情報、開花情報を中心に更新しました。

なお、ホームページアクセス数は表1-8のとおりです。

また、ブログ「石狩浜観察日記」で石狩浜の自然豊かな様子を、写真中心にお届けしています。

表1-7 平成28年度刊行物発行状況

刊行物名	内容
通信誌「はまぼうふう」vol.53～55	浜の自然情報やセンターの行事予定などを掲載

表1-8 平成28年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1,301	1,846	3,034	3,018	1,632	1,528

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	959	864	701	701	804	906

年間計	17,294	月平均	1,441
-----	--------	-----	-------

9. 海浜植物種子の配布

来館者向けに配布した種子の種類と数は表 1-9 のとおりでした。

表 1-9 海浜植物種子配布状況（単位：袋）

種類	配布袋数	種類	配布袋数
ハマボウフウ	844	ハマヒルガオ	645
ハマエンドウ	684	エゾカワラナデシコ	984
ハマハタザオ	568	ハマナス	73
配布合計			3,798

2. 調査・研究

これまでに発行した調査研究報告は表 2-1 のとおりです。結果については、別途作成の報告書や、紀要等へ掲載していきます。

表 2-1 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と 14 年間の植生変化(2002 年度調査)	1 号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況 (2003 年度調査)	2 号
石狩海岸林の植生概要 (2004 年度調査)	3 号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録 (2004/2005)	4 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録 (2006)	5 号
聚富海岸の植生概況 (2007 年度調査)	6 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録 (2007)	7 号
1989 年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8 号
2008 年から 2010 年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9 号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10 号

3. 自然観察園の整備

1. 自然観察園

センターの自然観察園は、展示施設に隣接した約2,100m²の敷地です。石狩浜に自生する海浜植物を集めると共に、石狩砂丘の植生の帯状構造を再現するように、自然植生を生かしながら移植、播種、及び除草等を行っています。

また、来館者の学習をサポートするために、クイズラリーの看板等を設置し、環境学習の場として積極的な活用を図っています。



図3-1 自然観察園概況

2. 市内公園等での海浜植物栽培

センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、表3-1のとおり、市内の公園で栽培しています。

表3-1 平成28年度市街地公園花壇等への海浜植物栽培状況

公園名	海浜植物の種類
図書館横	エゾカワラナデシコ、イソスミレ、 ハマボウフウ、ナミキソウ、エゾス カシユリ、シロヨモギ



図書館横花壇

4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

1. 親船名無沼観察路

通称親船名無沼は、平成17年度に行なった動植物相調査により、多様な水生動植物が生息生育することがわかった。多くの人が沼の自然に親しめるよう、センターでは平成18年より、道路から沼岸まで近づける歩道、観察場を設置し、維持管理を行なっています。平成28年度も引き続き維持管理を行ないました。



図4-1 通称親船名無沼の位置

2. 海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

海浜植物保護センターから弁天歴史公園まで、海浜植物群落やニセアカシア林を通って散策できるよう、毎年散策路の草刈りを行なっています。

ハマナス再生園の園路と有機的につなげ、本町地区を訪れる利用者の利便性を図りました。



図4-2 海浜植物保護センターから弁天歴史公園までの散策路のルート

3. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成28年度も以下のとおり実施し、企業の社会貢献活動として多くの参加があったのが特徴でした。今後も継続していきます。

表4-1 平成28年度外来植物等の除去作業実施状況

日 に ち	参 加 者 数	参 加 団 体 等
4月23日（土）	約160名	石狩市緑化推進協議会、石狩ライオンズクラブ、親船高齢者クラブハマナス会、いしかり海辺ファンクラブ、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩観光協会、センター運営委員会、石狩観光協会、石狩植物愛好会、NTT東日本グループ北の自然守り隊、ほか

5. 来館者数

平成28年度の開館期間中（4月29日～11月3日）の来館者数は、9,215人でした。月別来館者数は、図5-1に示しました。また、平成12年度からの来館者数の変化を図5-2に示しました。

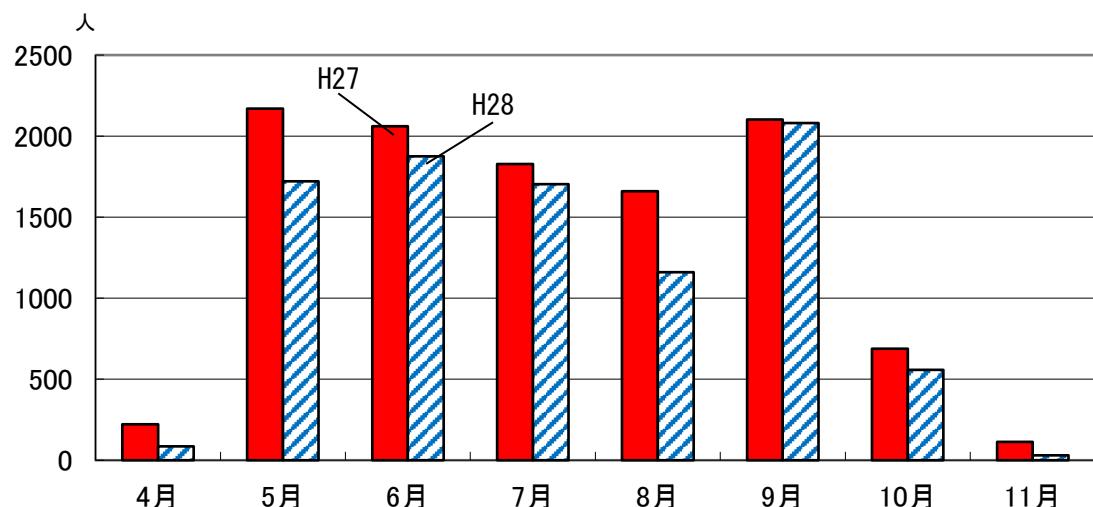


図5-1 平成28年度の来館者数の月変化と前年度との比較

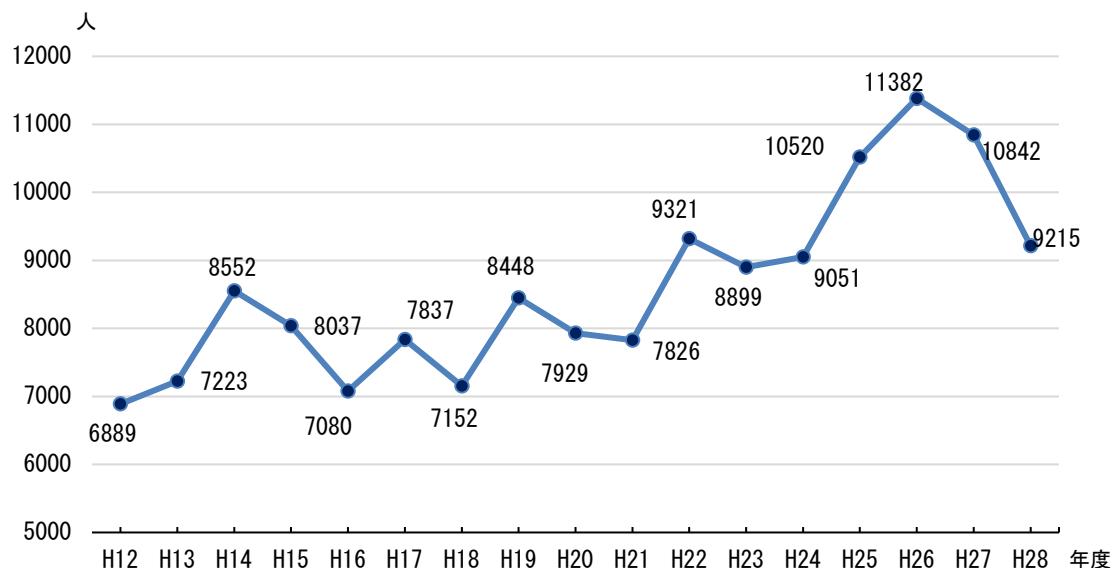


図5-2 平成12～28年度の来館者数の年変化

6. 保護・回復対策

1. 海浜植物等保護地区の監視

「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から10月まで（聚富地区は5月から10月まで）監視員2名により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗り入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が増える状況にあり、監視による抑止効果は大きいと思われます。

石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

2. 親船地区西側のエリア

親船地区西端から石狩湾新港東側（三線浜）にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への進入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から進入していることがわかっています。

海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、新たに指定した「弁天地区」、「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。

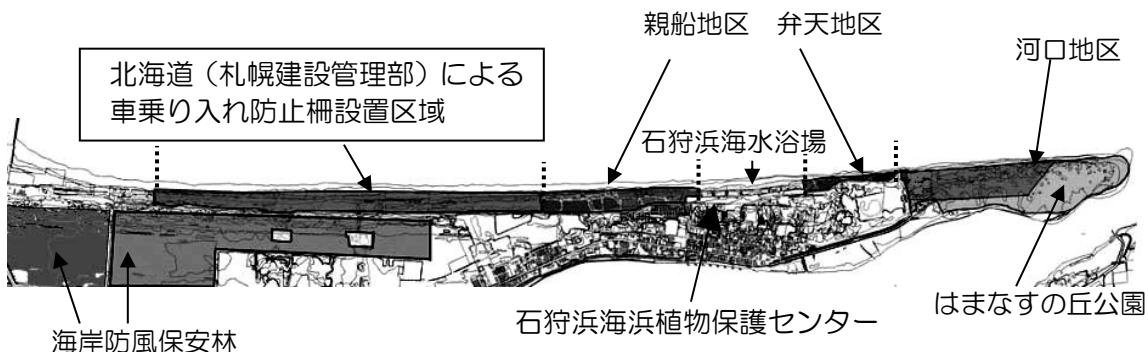


図6-1 車乗り入れ防止柵設置区域